

郡上市 議会だより



2020.8

第 65 号

題字「郡上市」は、
郡上市立相生小学校6年生
高坂 柚奈 さんの
作品です。



「福袋」→「ふく Book ろ」

より開かれ
信頼される
議会をめざして

目次

新型コロナ緊急提言	2
6月定例会	4
管内視察報告	5
決議・新型コロナ議会对応	6
政務活動費実績・議員表彰	7
一般質問 郡上の課題を問う	8
クイズコーナー	14

に関する“8つの緊急提言” (抜粋)

4 農産物等の新たな販路拡大戦略に対する支援

- 農産物の新たな販路開拓など、成長する分野が期待されるため、支援策を講じること。

市の
対応

6月補正予算で対応

- がんばれ郡上の農水産物応援事業（300万円増額）
市内農水産物販路拡大を目的とした購入経費助成
購入費用の1/5（上限20万円/事業者）を補助

5 事業者への平等かつ更なる支援

- 現在の施策を継続しつつ、業種による不公平感が生じないように、更なる支援策を講じること。

市の
対応

5月専決処分及び6月補正予算で対応

- 新型コロナウイルス観光緊急対策事業（2億8577万5000円増額）
観光事業者固定費一部補助（法人：上限150万円/月、個人：上限10万円/月）
- 新型コロナウイルス観光緊急対策事業（1216万5000円増額）
宿泊割引クーポン、体験型観光割引、周遊バスツアー助成など

6 市の指定管理施設に対する支援

- 売り上げ減少を考慮した補てん、指定管理料の見直しなど、臨機応変な対策を講じること。

市の
対応

6月補正予算で対応

- 新型コロナウイルス商工緊急対策事業（800万円増額）
休業要請に全面協力するなど、県協力金の支給要件には該当するが、市の指定管理者という理由で支給対象外となった16事業者へ協力金50万円を支給
- 新型コロナウイルス観光緊急対策事業
観光事業者固定費一部補助（法人：上限150万円）

7 オンライン授業の推進

- 「新しい生活様式」に沿った学習形態として、CATVの有効活用を図ること。
- オンライン授業の環境整備のため、CATV月額固定費の助成などの支援策を講じること。

市の
対応

6月補正予算で対応

- 小学校情報通信ネットワーク環境整備事業（2億1757万5000円増額）
- 中学校情報通信ネットワーク環境整備事業（1億1401万1000円増額）
校内LAN高速化、タブレット端末購入など

8 市民生活への更なる支援

- 家計への支援として、市の公共料金（上下水道料金）の支払い免除を講じること。
- 大学生・専門学校生や、臨時特別給付金の対象とならない子どもを持つ世帯への支援の拡充を講じること。

市の
対応

6月補正予算で対応

- 高校生・大学生等就学応援給付金事業（3305万円増額）
感染症の影響を受けながら就学する学生を応援するための給付金
（高校生等：1万円/人、大学生等：2万円/人）

新型コロナウイルス感染症対策



5月21日に議長、副議長、議会運営委員で市長に新型コロナウイルス感染症対策に関する政策提言を行いました。

提言の詳しい内容については、郡上市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

また、提言に対する市の対応については、6月定例会までの主なものを記載しています。

新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大を続ける中、市民の不安は増すばかりである。先行き不透明な状況の中、今後も長期的かつ継続的な対応が求められることから、郡上市議会も市民の声に耳を傾けながら、市と一体になり全力で取り組む所存である。市民生活と市内経済の持続的な安定が図られ、市民の不安が一日も早く解消されるため、下記の事項について積極的に措置を講じられるよう提言する。（一部抜粋）

1 財源の確保対策

- 令和2年度予算の組み換えを行い、十分な財源を確保すること。
- 国の事業の活用を含め、歳入確保のための取り組みを行い、税収減への対策を講じること。

市の
対応

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の確保

- 国へ実施計画書を提出

1次補正では2億2636万7000円、2次補正では8億622万7000円が交付される予定

- 新型コロナウイルス感染症対策に活用できる新たな起債の創設について、市長会を通じて国に要望する予定

2 「新しい生活様式」への対応

- 「新しい生活様式」を踏まえ、総合計画をはじめとする市の各種計画の見直しを行うこと。
- テレワークやテレビ会議などの新しい働き方を取り入れ、働き方改革を推進すること。

市の
対応

WEB会議システムの運用開始

- 緊急時、または会議場所にやむを得ない理由で集まらない場合などを想定し、6月中旬より本庁舎をはじめとする12カ所でWEB会議システムの運用を開始

3 複合災害対策（避難所における感染症対策）

- 自然災害に備え、県ガイドラインに沿った避難所運用マニュアルを早急に策定すること。
- 避難所の感染症対策を万全に期し、避難時の感染予防の留意事項を周知徹底すること。

市の
対応

郡上市避難所運営マニュアルの改訂

- 6月1日に、新型コロナウイルス感染症対策を追加し、マニュアルを改訂

6月定例会

人事案件

(全会一致)

●選挙管理委員・補充員の選挙

【委員】4名

小澤秀生氏 山田訓男氏
高田忠雄氏 曾我金一氏

【補充員】4名

池場康晴氏 三島哲也氏
佐藤茂喜氏 辻 治美氏

条例の制定・一部改正

(全会一致)

主な制定・改正

- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- 感染症防疫等作業手当の追加
1日当たり3000円もしくは4000円を支給
- ふるさと寄付条例の一部改正
。基金へ積み立てることなく事業費用に充てることができる規程の追加
- 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

- 。損害賠償に係る補償基礎額等を変更
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 。放課後児童支援員の資格要件の拡充

●介護保険条例の一部改正

- 。低所得者に対する介護保険料の軽減

物品売買契約の締結

(全会一致)

- 。ロータリ付除雪ドーザー1台の購入
- 【契約相手】 コマツカスタマー

- 【契約金額】 2557万5000円
- 。消防ポンプ自動車2台の購入

- 【契約相手】 (株)ウスイ消防

- 【契約金額】 4202万円



地域の消防団に配備されます

- 。水槽付消防ポンプ自動車1台の購入

- 【契約相手】 (株)ウスイ消防

- 【契約金額】 5192万円

- 。消防小型動力ポンプ積載車3台の購入

- 【契約相手】 岐阜ヤナセ(株)

- 【契約金額】 1996万5000円

財産の無償譲渡

(全会一致)

- 。美並町くじ本自治会が実質上所有する市名義の土地の譲渡

(334.512㎡)

市道路線の認定

(全会一致)

- 。本町区内線(八幡町本町)

延長116m

- 。剣・中津屋線(大和町剣・白鳥町中津屋)

延長1721m

- 。駅前避難地線(白鳥町白鳥)

延長41.8m

令和2年度補正予算

(全会一致)

一般会計補正予算

6億7699万7000円増額

主な補正予算の内容

- 新型コロナウイルス商工緊急対策事業

1億8700万円増

- 。プレミアム付き商品券5万セット追加他

- 新型コロナウイルス観光緊急対策事業

1216万5000円増

- 。郡上で泊まろう(割引クーポン)、郡上で遊ぼう(割引助成)、郡上ツアーを楽しもう(バスツアー補助)の3支援事業

- 小・中学校情報通信ネットワーク環境整備事業

3億3158万6000円増

- 。校内LAN、端末用電源、タブレット端末



タブレットを使用した授業風景

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業

1118万8000円増

- 。大型モニター購入

小学校63台、中学校9台

- がんばれ郡上の農水産物応援事業

300万円増

。新型コロナウイルスの影響対策として、民間事業者の市内産農水産物購入経費を助成

●高校生・大学生等就学応援給付事業
3305万円増

。新型コロナウイルス感染症による経済的影響緩和のための給付金

●道路メンテナンス事業

9550万円増

。八幡井戸瀬橋補修他8カ所

●学校給食管理事務経費

271万1000円増

。新型コロナウイルス感染症による臨時休校に伴う給食事業者への補償金

●ひとり親世帯への臨時特別給付金事業

2945万3000円増

。児童扶養手当受給世帯などへの給付5万円

。第2子以降加算3万円

。収入が減少した受給世帯などへの給付5万円

●新型コロナウイルス商工緊急対策事業

800万円増

。県休業協力金の対象外となる指定管理者への休業協力金

50万円×16事業者

管内視察報告

6月22日(月)に、産業建設常任委員会が管内視察を行いました。

●奥田洞谷(大和町)

。平成30年7月豪雨で崩落が発生し、現在も継続中。現地の視察と、現状についての説明を受けました。

●長良川清流あゆパーク(白鳥町)

。来場者数、体験者数、新型コロナウイルス感染症防止対策などについて説明を受けました。

●JAひるがの高原野菜集出荷予冷施設及びJA宿泊研修施設(高鷲町)

。改修された研修施設の視察と、外国人研修生代替労働者確保及び担い手支援などについて説明を受けました。



施設の説明を受ける様子



鮎の受取・選別が行われる漁協出荷場

●白鳥ライスセンター(白鳥町)

。乾燥・調整設備を視察。産地生産基盤パワーアップ事業について説明を受けました。

●郡上旬彩館やまとの朝市(大和町)

。集荷設備、低温貯蔵庫を視察。農産物等流通ネットワーク構築事業について説明を受けました。

●酪農農家草地造成地(八幡町)

。草地造成地を視察。畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

●郡上漁業協同組合(八幡町)

。出荷場水槽整備を視察。農林水産物ブランド化向上事業について説明を受けました。

全国市議会議長会

産業経済委員会

山川直保議長は今年度、全国市議会議長会の産業経済委員会委員長に就任しました。



委員長として会議を円滑に進行された

7月2日(木)には、第1回委員会が開催され、衆・参農林水産委員長への要望活動が行われました。

●令和3年度産業経済施策等に関する要望

。農業振興対策や林業振興対策など、8項目について要望

●新型コロナウイルスに関する要望

●東日本大震災に関する要望

地域経済循環に関する決議

国内で新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、市内においても観光、飲食、小売り、農業などの各産業をはじめ、あらゆる事業者が影響を受けている。このような状況の中で、国は特別定額給付金として国民一人当たり10万円を給付する施策を打ち出し、本市でも約41億円の補正予算を専決処分したところである。

民間事業者のアンケートなどを見ると、本給付金の使い道は「食品・飲料品」、「日用品」が多いという結果となっている。一方で、地域の事業者を支援しようという「応援消費」という考え方が市内でも広がっている。

本給付金は家計支援が主たる目的であるが、その使途として、急激に落ち込んだ地域経済への底支えとして、また感染拡大防止の面からも、市内での経済循環を市民と一丸になって進めていく必要がある。

現在、市はテイクアウト支援、プレミアム商品券の発行など地域経済循環を促す支援を行っているが、今後も継続して、また様々な業種へと拡大させるためにも、市は市民への特別定額給付金の申請をうながすとともに、市民の「応援消費」の動きがさらに拡大する取り組みを求める。

以上決議する。

令和2年6月10日

郡 上 市 議 会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの市内事業者が影響を受けています。特別定額給付金による地域経済循環を促進し、新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する地域経済を底支えするため、郡上市議会は6月定例会において、地域経済循環に関する決議をしました。

郡上市議会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、次のような取り組みをしています

行政視察の中止

令和2年度については、常任委員会及び特別委員会の行政視察（市外への視察研修）は実施しないことに決めました。

予算削減効果

226万500円

政務活動費の減額

令和2年度については、政務活動費（議員一人当たり年額12万円）の50%（議員一人当たり6万円）を減額することに決めました。

予算削減効果

108万円

マスク着用の徹底

定例会・臨時会・委員会において、出席者のマスクの着用を必須としており、傍聴者に対してもマスクの着用をお願いしています。

議場内での三密回避対策

議案の説明時には、関係する執行部のみ出席としています。一般



議場内の人数を調整し、万全を期して一般質問を実施

質問時には、議場内の人数を減らすため、約半数の議員は別室にて一般質問を視聴しています。また、傍聴席数を約3分の1に制限し、十分な距離を確保できるようにしています。

令和元年度 政務活動費実績表

議員名	申請額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	資料作成費	資料購入費	交付金額計
三島一貴	120,000	0	0	0	0	52,844	0	48,270	101,114
森藤文男	120,000	42,013	0	0	0	0	0	11,160	53,173
原喜与美	120,000	0	0	0	0	0	0	42,636	42,636
野田勝彦	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0
山川直保	申請なし	-	-	-	-	-	-	-	-
田中やすひさ	120,000	0	0	0	8,020	0	0	0	8,020
森喜人	120,000	0	115,864	0	0	0	0	5,891	120,000
田代はつ江	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0
兼山悌孝	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0
山田忠平	120,000	0	0	0	0	0	0	58,552	58,552
古川文雄	申請なし	-	-	-	-	-	-	-	-
清水正照	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0
上田謙市	120,000	0	0	0	0	0	0	67,902	67,902
武藤忠樹	120,000	0	86,246	0	0	0	0	44,024	120,000
尾村忠雄	120,000	56,306	0	0	0	62,476	0	14,400	120,000
渡辺友三	120,000	0	0	0	0	0	0	27,096	27,096
清水敏夫	120,000	0	0	0	0	0	0	23,208	23,208
美谷添生	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0

※政務活動費は上限を年間 120,000 円としております。

政務活動費とは？

郡上市議会議員の市政に関する調査研究等の活動に資するための経費の一部として、条例に基づいて申請した議員に年額12万円を限度として交付され、残った額は市へ返還となります。次のような経費が対象になります。

【調査研究費】

調査研究のために、先進地視察や現地調査に要する経費

【研修費】

研修会等を開催するための経費
研修会等に参加するための経費

【広報費】

調査研究活動、議会活動及び市の政策について市民に報告等をするための経費（広報紙等）

【広聴費】

市民から意見を聴取するための会議等の経費

【要請・陳情活動費】

議員が要請・陳情活動を行うための経費

【資料作成費】

議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

【資料購入費】

議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入経費

全国市議会議長会・東海市議会議長会表彰

全国市議会議長会及び東海市議会議長会において、永年にわたって地方自治及び議会の振興と発展に貢献したとして表彰状が贈られ、6月定例会本会議において議長より伝達されました。



清水敏夫 議員
(20年表彰)



渡辺友三 議員
(20年表彰)



兼山悌孝 議員
(15年表彰)

お詫びと訂正

第64号8ページにおいて、記載内容に誤りがございましたので、左記のとおり訂正するとともにお詫び申し上げます。

誤 「一般病床48床」
正 「一般病床46床」

郡上の課題を問う



あなたの声を市政に

一般質問とは、市の行政全般について、議員が市長をはじめとした執行機関に、質問を行い見解などを求めることです。6月定例会の一般質問に9名の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

また、YouTubeでの一般質問録画配信も行っております。

●[郡上市HP](#) > [郡上市議会HP](#) > [一般質問録画配信](#) からご覧いただけます。

一 般 質 問 一 覧

	議 員 名	質 問 事 項
1	田 中 やすひさ	1. 新型コロナ対策について
2	田 中 義 久	1. 新型コロナウイルス感染症対策について
3	野 田 勝 彦	1. ウイルス流行による市の歳入変動について
4	長 岡 文 男	1. 郡上市高等学校通学費の助成について
5	田 代 はつ江	1. サポカー補助金について
		2. 学校再開の課題
6	森 藤 文 男	1. 学校における新型コロナウイルス感染症対応
7	森 喜 人	1. 新型コロナウイルス
8	本 田 教 治	1. 「観光立市郡上」 具体的展望について
9	原 喜与美	1. 公共施設適正配置計画の推進について

※一般質問のページに関しては、各質問者の責任で掲載しております。

問

今後も補正を組み 施策を打ち続けるべきでは

市長

状況を確認しながら打っていききたい



田中 やすひさ

今後も補正予算を打っていく必要がある。

例えば、個々のお店や事業者が感染拡大防止策を講じていることを見える化し、認定していくこと。

地域として感染防止策をプロモーションしていくこと。

宿泊施設など感染防止のための改修に対し、地域内経済循環を進めるためにも、市内業者を利用される場合に支援をしていくこと。

現行の観光事業者へ

の固定費補助の対象事業者を拡大すること。
売上減少に対する郡上市版の持続化給付金を創設すること。
特産品などの送料補助を行うこと。

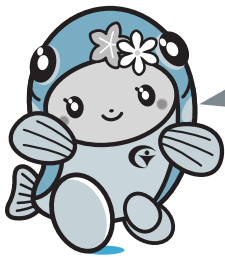
オンライン物産展の開催、ふるさと納税による郡上のおどりを愛するファンの皆さんの気持ちを受け入れる受け皿づくり。

異業種転換や創業支援の現行施策の拡充を行うこと。

市産材住宅建設助成事業を拡大すること。

新たな雇用を行う事業者への「雇用促進助成金」といったような支援を行うこと。

財源として、財政調



市内での消費が郡上の応援になります！

今後、次の4の矢、5の矢を打っていく必要があると思うが、慎重に状況を確認しながら打っていきたい。

整基金以外の基金の活用など、さまざまな施策が考えられる。今後も補正を打っていき、という市長の覚悟は日置市長

問 ▶ コロナ禍における観光産業対策を問う

市長 観光立市郡上の看板は下ろさない



田中 義久

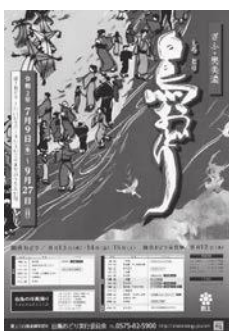
今後とも観光立市郡上の方針は堅持するのか
日置市長

世界的に人の移動が制限されるような事態が起こることは予想していなかった。しかし、観光が地域経済の大きな牽引力という考えの下、観光立市郡上の看板を下ろすことは毛頭考えていない。環境が変われば変わつたように知恵を絞っていくことが必要。旅行消費の8割は日本人の国内旅行であり、まずは国内観光客を安心して迎え入れるよう、また、魅力ある観光を打ち出していく必要がある。誘致策をもっとしっかりと取り組んでいく。

踊りのできない今夏は、市としても観光立市を堅持するため、観光産業関連体系を維持していくことが大事。そのためには特別な対策が必要となる
可児商工観光部長

郡上おどりと白鳥おどりをインターネットとケーブルテレビでライブ配信する準備を進めており、日本だけでなく世界に向けて発信する。その際、市固有のさまざまな観光情報も併せて配信し、感染症収束後に訪れたくなる郡上を打ち出していきたい。

また、当面は市民向けに、続いて国県や観光連盟と連携し、有利な割引支援を提供する中で、宿泊や体験観光をミックスして滞在型の誘客を進める。



開催を見合わせることもあった郡上おどりと白鳥おどりの今年度ポスター

問

新型コロナウイルス流行による 市の歳入への影響は



野田 勝彦

総務部長 想定は難しいが一般会計で1億円、病院
会計で3億円程度の減収の可能性はある

古田総務部長

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の収入が著しく減少した場合、減免や徴収猶予の対応をすることから、歳入の減少が見込まれる。市税では、すでに約600万円の徴収猶予の申請がされているが、最終的には、7000万円ほどになるのではないかと。市の施設が使用停止になったことや、市立の幼稚園・保育園が臨時休園となったことで、使用料が600万円ほど減少している。病院や介護施設では診療、利用の減少があり、大きな影響が出ている。白鳥・市民両病院合わせて3億円ほどの収入減となっている。市税や保険料は、前年の収入で税額を決定することから、新型コロナウイルス禍の影響は来年度において大きく影響が表れることが予想される。

国の臨時交付金の活用は

国の第一次及び第二次補正予算で合わせて3兆円になった地方創生臨時交付金の活用はどのような想定されているか
河合市長公室付部長
市の交付上限額は、一次分として約2億2600万円である。子育て世帯への臨時特別給付金の上乗せ給付や、観光事業者に対する施設固定経費の一部補助など、5つの事業について、「実施計画」を国へ提出した。

市では、直面する課題に対応するため、これまでに単独事業分として約7億円の予算を計上し事業を進めている。2次分では、感染拡大の防止、雇用の維持、経済活動の回復という視点に加え、「新しい生活様式」に対応した施策についても検討していく。



問

市内高等学校の 通学費の助成制度は

市長

令和3年度の予算編成で対応を検討していく



長岡 文男

助成制度の効果は、何をもって見極めるのか、制度の見直しについて考えはあるのか。

本制度の市内高等学校

校生徒の確保と学校の維持存続、並びに保護者の経済負担の軽減を図るという目的は十分理解しているが、経済負担については、市外の高校に通学されている方々の中には、市民としての不公平感を感じている方もいる。交通費助成により生徒を増やし地元県立高校の

維持継続に結び付けることは強引すぎないか。むしろ市内高等学校の魅力づくりにより生徒を確保するべきではないか。制度の見直しに対する考えを伺う

日置市長

補助金の効果は効果としてしっかり見極めていかなければいけないと思っています。また、ご指摘のように、単に保護者の経済的負担の軽減ということだけにしか働いていないとすれば、これはやはり、市内の保護者で、子どもを市外に通わせている保護者に対する何らかの措置は必要かということも思う。

いずれにしろ、施策

というのは、常にその状況、結果を見ながら次を考えていかなければいけないということだと思つので、今の状況をもつ少し細かく分析をして、令和3年度の予算編成では、しっかり議論を詰めて、対応を検討していきたいと思う。



美濃加茂方面への通学風景
福野駅

問 市サポカー補助制度の申請状況は

総務部長

現在8件の申請がある。安全運転への取り組みも行う



田代 はつ江

後付けペダル踏み間違ひ急発進抑制装置の購入補助制度の状況は
古田総務部長

申請者の内訳は男性5名、女性3名で、69歳から91歳の方であった。問い合わせも数件受けているが、車種や年式によって、設置可能な場合もあった。後付け機能はあくまでも運転技術を補助するもので、細心の注意を払って安全運転に心がけてもらう取り組みを行っている。

補助期間は令和2年度の1年間限定であるが、社会情勢をみて1年延長はできないか
総務部長

今後、市内での交通事故の発生状況を見守りつつ、補助期間の延長について検討したい。
学校再開の課題

新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大する中、感染予防対策として誰も経験したことのない長い休校を余儀なくされた。学校生活を「しんどい」と思っている子にとって再開は重荷となるかもしれない。そんな子どもたちの心のケアは
佃教育次長

約3カ月間の休校は、



児童・生徒にさまざまな影響をもたらしており、特に心のケアについては、教育委員会としても大きな課題と認識している。

休校中も家庭訪問や電話などで児童・生徒と連絡を取ることや、つながりを保ち、教育相談や学習支援を行ってきた。学校再開後は個別の教育相談やアンケートにより休校中の過ごし方や不安、悩みを把握するようになっている。

問 学校における新型コロナウイルス感染症対応は

教育次長

感染源を絶つこと、感染経路を絶つこと、抵抗力を高めることをポイントに指導する



森藤 文男

新型コロナウイルスの

感染及び、その拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、健やかな学びを保障するために、本市としての学校再開に対応した衛生管理についての基本的考え方と感染症対策は
佃教育次長

子どもたちが安心して学べることを第一として国の衛生管理マニュアルや、県教育委員会が示す学校再開ガイドラインの方針に基づき、感染症対策を行うことを基本的な考えとしてしている。感染源を絶つ、感染経路を絶つ、抵抗力を高める、の3つのポイントを踏まえた基本的な対策、集団感染のリスクへの対応、具体的な活動場面ごとの感染予防対策について、国が示す「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準にも従いながら対応していく。

熊田教育長

総括して、子どもたちは、長期の休校で、多くのストレスを抱えていることが予想される。

実態に応じた計画に沿って、段階的に学力、体力をつけていくことを前提に、心の教育の充実を図ることが求められる。

それには、教科指導だけを重視するのではなく、行事や体験活動などの、特別活動、道徳教育などバランスのとれた指導を心掛ける。

今回の経験をもとに、教育委員会としてもタブレットの整備やオンライン授業などにも取り組む。



問

今回の新型コロナ禍で 歴史的に何を感じるか



森 喜人

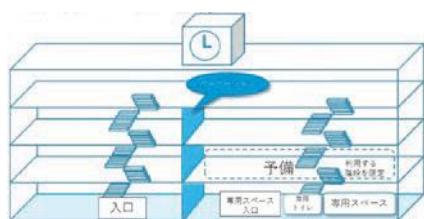
市長 自分の人生の中で考えている以上に、人類の歴史にはいろいろなことはあったと謙虚に考える必要がある

市長から市民へ希望的メッセージを
日置市長

政治、経済の力と、今危ぶまれている国際協調の力などにより、長い歴史から見て感染症に負け続けることはないと思信している。感染症に対する克服を支えるのは一人ひとりの人類を信じる希望を持つ力だと思っている。今回の感染症は必ず克服できる。そして、本市のように人口密度の少ないところに、ある意味光が当たるという可能性もあることを含め、私たちは希望を捨てずに、希望を持つということが希望であると思うので、皆さんと一緒に頑張りたい。

秋冬に「第2波」が懸念される中、風水害への対応と、避難の呼びかけは
古田総務部長

「三密」になりやすい避難所の環境改善、避難者の感染症対策は、災害



教室を避難所にする想定図
(県避難所運営ガイドラインより)

が起こる前に万全を期す必要がある。一定の距離を確保すれば、受け入れ可能数が減少することから、体育館のみならず、教室も避難所にできるよう依頼した。

市発令の避難情報は、広範囲なエリアが対象になってしまい、自宅の方が安全な場合もある。避難所だけでなく近隣の親類宅なども避難所に想定していただきたい。

また、いよいよ避難が必要な状況に至った場合、危険度が高い地域が特定できるような文面に変更し、よりわかりやすい放送内容に努めたい。

問

「観光立市郡上」の具体的展望は

副市長

通り返り観光でなく、暮らすように楽しむルートが今後大切である



本田 教治

一歩、わが市へ足を踏み入れると、目的・季節別に本市全体を観光できるルートを作成したらどうか
青木副市長

そうしたコースは、通りすがりやただ見て歩くのでは本当の魅力は伝わらない。体験型、



郡上市観光連盟
Gujo Outdoor Experiences

滞在型、通年型に結びつけられるような通りすがり観光でなく、いわば「暮らすように楽しむ」コース設定が今後大切になってくる。

可見商工観光部長

今回の提案は、観光地域づくりを進める上で重要な取り組みだと認識している。魅力的な観光資源を組み合わせることで集客対策を考えていきたい。

観光ルートの提案には各地域のご理解とご協力が必要だが、自治会での花木植えと維持管理のお願いは可能か
河合市長公室付部長

自分達の地域を自らの手でやろうとする自主性がなければ継続が

難しい。依頼、要請の考えではなく、自主的に取り組まれることを基本に考えている。

その取り組みに対し財政的に支援させていただく。

郡上ブランド米のこれから展望は
五味川農林水産部長

既に生産者によるブランド米やJAの「奥美濃コシヒカリ」「郡上コシヒカリ」が販売されている。加えて、若手水稲農家が「郡上のお米プロジェクト」を昨年設立された。

新しい活動と従来活動をミックスし、郡上の誇るお米のブランド化を進めていきたい。

公共施設適正配置計画に基づく

実践対策は

市長

適正配置計画の実践、

実施に向け決意をもっている



原 喜与美

高度経済成長期を中心に建設されてきた公共施設の修繕や更新の時期となって、維持管理が課題となり適正配置計画が作成されたが、その実践対策を伺う

日置市長公室長

この適正配置計画は施設として市民に必要な機能・サービスを維持しながら、施設総量の10%の削減を目標とし、前期として10年間の目標を設定している。その達成に向け、施設の機能移転や統合、

民間との協働などの方策を講じた上で、譲渡や廃止とした施設の対応を着実に進める必要がある。計画推進に当たり、市民に継続的に理解を求めるほか、「小さな拠点とネットワーク」の考え方に基づき、地域の拠点施設を活かした地域経営の担い手や仕組みづくりにも取り組んでいきたい。

日置市長

適正配置計画で示す施設の見直しを先送りすることなく、可能な限り前倒しも視野に入れ取り組む考えでいる。少子化が進む中にあって、当面は大和地域の小学校の再編問題について地域の皆さん

と協議を進めているところである。

過去においては綿密な検討を重ね、その時代に合った施設を配置してきた経緯があるが、人口減少と市の財政状況を市民の皆さんにご理解いただき、ご協力と積極的なご提案をいただいて、本計画に基づいてしっかりと進めていく決意である。



市民説明会の様子

クイズの答え《第64号出題》

ご応募いただきありがとうございました。

いただいた貴重なご意見やご感想は、議員及び執行部が全て拝読しております。

正解は 問1 ②6月16日 問2 ③牛道小学校 問3 ①マスク

抽選の結果、当選された10名の方には、郡上市商品券をお贈りいたしました。

なお、ご応募いただいた方の個人情報は、目的以外には一切使用いたしません。

皆さんからの

声

クイズにご応募いただいた方からのご意見・感想を一部紹介します。

● コロナウイルスが広まっている中、郡上市の為に頑張ってくださいありがとうございます。

大和 20歳

● 郡上八幡に移住して1年となります。今年は夏の踊りが中止となり残念です。来年の夏は1年お休みした分、倍盛り上がりと思う像し今から楽しみです。

八幡 45歳

● 今年の表紙はどこを見ても「マスク」姿しか見えず、いかに恐ろしいか今年ほど感じたことはありません。でも負けないで頑張ろうと思う七十六のバアです。

八幡 76歳

● 市議の皆さんが、市をよくするために、一生懸命なのがよくわかりました。

美並 52歳

● 議会だよりの最終ページにクイズとは！目に留まった以上、何度か読み返しました。新しく加われた議員さん等、見すごす貴誌でしたが、広い郡上地域での皆様のご活躍に感謝です。

明宝 72歳

● 初めて目を通しました。議会をユーチューブでも見られるなんて知らなかったです。

白鳥 35歳

クイズに答えて 郡上市共通商品券を 「ゲット」しましょう!



問1 議会の緊急提言のうち、6月補正予算で対応したのは何項目でしょうか。

- ①3項目 ②5項目 ③8項目

問2 国の特別定額給付金(1人10万円)、市の専決補正額は。

- ①約6億8千万円 ②約41億円 ③約8億6千万円

問3 追加発行されるプレミアム付き商品券は何セットでしょうか。

- ①5百セット ②5千セット ③5万セット

「議会だより」の中に答えがありますので、よく読んで探してください。

また、郡上市議会や議会だよりに関する皆さまの声も是非お寄せください。クイズ正解者の中から、抽選で10名の方に郡上市共通商品券をプレゼントいたします。

応募方法

クイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢を記入して、官製はがき又はファックスでご応募ください。

当選者は商品券の発送をもって発表に代えさせていただきます。お寄せいただいたご意見については、内容を要約し、無記名で掲載させていただきます。

あて先

〒501-4297 郡上市八幡町島谷228番地
郡上市議会 議会事務局 FAX67-1821

締め切り:令和2年8月25日(火) 当日消印有効

※ご応募いただいた個人情報は目的以外に一切使用いたしません。

表紙写真説明

相生小の教育目標「豊かな心でやりぬく子」のもと、学校とPTAで力を合わせて図書館教育を進めています。写真は、相生小図書館のお勧め本2冊を入れた「ふくBOOK」をもつ図書委員(6年生)です。この「ふくBOOK」は、withコロナで始めました。子どもたちから「ふだんは選ばない本だけれど、読んでみたらとてもいい本だった。」どんな本が入っているか楽しみになってきた。」との声も聞こえ、図書の魅力が再発見できそうです。

ゆかた議会



新型コロナウイルス感染症の影響で、郡上おどりや白鳥おどりが見合わせとなりましたが、「おどりのまち郡上」として、来年以降のおどりが盛り上がることを祈念して、6月定例会最終日にゆかた議会を開催しました。

9月定例会の予定

月 日	曜日	会議の内容
9月1日	火	議会運営委員会・全員協議会
9月2日	水	総務常任委員会協議会
9月3日	木	産業建設常任委員会協議会
9月4日	金	文教民生常任委員会協議会
9月8日	火	開会・議案説明
9月9日	水	予算特別委員会・本会議
9月11日	金	
9月14日	月	決算認定特別委員会
9月15日	火	
9月16日	水	一般質問
9月17日	木	
9月18日	金	
9月23日	水	総務常任委員会
9月24日	木	産業建設常任委員会
9月25日	金	文教民生常任委員会
9月30日	水	議会運営委員会
10月1日	木	閉会

※開会時間は原則9時30分です。
日程・時間に変更になる場合があります。

編集後記

広報広聴特別委員となり、編集を経験させて頂きました。また、6月定例会一般質問も経験し議会運営も少し分り、関わってよかったと思っています。

もうひとつよかったことは、新型コロナウイルス対策関連や7月大雨特別警報による対策など、緊急事案に昼夜問わずの

広報広聴特別委員会

委員長 野田勝彦
副委員長 本田教治
委員 清水敏夫 森藤文男
渡辺友三 田代まどよ

もつひとつよかったことは、この議会だよりを媒体に発信して参ります。今後もご愛読の程、よろしく願います。

本田教治